

- 性フェロモンで対象害虫の交尾を阻害することで発生を抑制
- 薬剤抵抗性を獲得した対象害虫にも有効
- 有機JASに使用できます

果樹類に発生する
ハマキムシ類の防除に!

交信かく乱用性フェロモン剤

ハマキコン[®]-N



《トートリルア剤》



リンゴコカクモンハマキ(成虫)



リンゴモンハマキ(成虫)



チャノコカクモンハマキ(成虫)



チャハマキ(成虫)

交信かく乱用性フェロモン剤の詳しい説明はWEBで



交信かく乱用性フェロモン剤 ハマキコン[®]-N

有効成分：(Z)-11-テトラデシル=アセタート……………69.4%
 (Z)-9-テトラデシル=アセタート……………13.7%
 10-メチル-ドデシル=アセタート……………1.8%
 (Z)-9-ドデシル=アセタート……………3.7%
 11-ドデシル=アセタート……………1.8%
 (Z)-11-テトラデセン-1-オール……………0.90%
 安定剤等……………8.7%

包装形態：100本／袋、36袋／箱

安全性

人畜毒性：普通物
 (毒劇物に該当しないものを指していう通称)

魚毒性：この登録に係る使用方法では該当がない

特長

- 1 性フェロモン剤の有効成分は微生物等により容易に分解されるため、環境にやさしい防除剤です。
- 2 性フェロモン剤は、殺虫剤と比べても一般的に抵抗性がつきにくいとされています。
- 3 作物への残留も心配なく、輸出用作物にも使用できます。

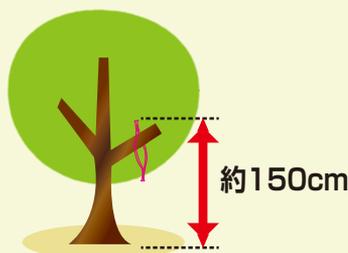
上手な使い方

1. 処理量

通常の場合、本剤を10アール当たり100～150本とし、圃場の立地条件(傾斜)、周囲の状況や風向き等を考慮に入れて、8割程度を圃場全体にほぼ均等に設置してください。残りの2割程度を圃場内周辺に処理すると効果的です。

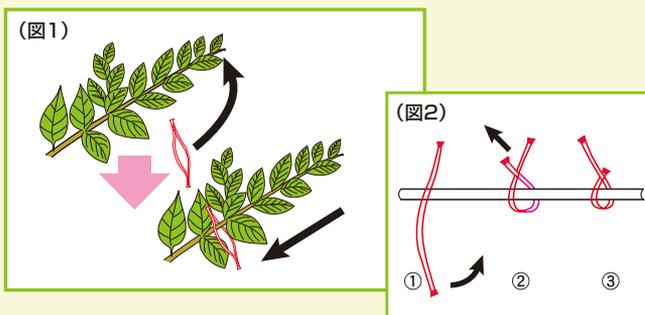
2. 処理位置

目通りの高さ(約150cm程度)に、なるべく圃場全体に均等になるように取り付けてください。但し、周辺部には高い位置に設置してください。また、樹高が不均一の場合もなるべく高い位置に設置してください。



3. 取り付け方法

細い枝では輪にして、輪の中を通すか(図1)、少し太い枝ではそのまま巻きつけてから、一端を輪の中にくぐらせて固定してください(図2)。(強く引っ張り固定すると、端が切れる恐れがありますので注意してください。)



4. 放任園・庭木対策

圃場周辺に無防除園や無防除樹があるか注意してください。ある場合は、あらかじめ防除を徹底してください。

ハマキコン-Nの登録内容

作物名	使用目的	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用方法
果樹類	交尾阻害	リンゴコカクモンハマキ ミダレカクモンハマキ リンゴモンハマキ チャハマキ チャノコカクモンハマキ	100～150本/10a (54g/150本製剤)	成虫発生初期 ～終期	本剤を枝に かける
フェニックス・ロベレニー		チャハマキ			

上記以外に茶に適用があります。使用にあたっては必ずラベルを読んでください。

使用上の注意事項

- 本剤は、チャハマキ、チャノコカクモンハマキ、リンゴコカクモンハマキ、ミダレカクモンハマキ及びリンゴモンハマキの各成虫の交尾を連続的に阻害し、交尾率を低下させることによる次世代の密度低下を目的としていますので、これらの成虫発生初期から比較的広範囲の地域で使用することが望ましいです。
- 対象害虫が高密度に存在する場合には状況に応じて天敵に影響の少ない殺虫剤を併用することが望ましいです。
- 本剤は樹木等に巻き付け、対象地帯に均一になるように設置

することが望ましいです。また、標準的な使用量は10アール当たり、果樹類：100～150本ですが、立地条件や風向、傾斜等により効果が振れる場合がありますので、諸条件から判断して、周辺部に多めに設置することが望ましいです。

- 外装のアルミ箔袋を開封したまま放置すると有効成分が揮散しますので、必ず使用前に開封し、使い切ってください。
- 本剤の使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法等誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

安全使用上の注意事項

- 本剤は皮膚に対して刺激性がありますので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落してください。
- 危険物第四類第三石油類に属するので火気には十分注意してください。

保管上の注意事項

- 火気を避け、直射日光が当たらない冷暗所(5℃以下)に密封して保管してください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。 ○ラベルの記載以外には使用しないでください。 ○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2021年9月現在の知見に基づいて作成されています。